



議会だより

No.145

平成25年5月

勝浦市議会報
編集委員会

電話0470(73)6662

目次

3月定例会の経緯	・・・2ページ
即決議案	・・・2ページ
議員提出議案	・・・2ページ
常任委員会の審査内容	・・・2ページ
予算審査特別委員会	・・・3ページ
追加議案	・・・4ページ
議会日誌	・・・4ページ
議会トピックス	・・・5～6ページ
一般質問	・・・7～9ページ
3月定例会議案審議結果	・・・10ページ
みなさんの議会を傍聴しませんか	
編集後記	



田植えの体験（平田区）

3月定例会

平成25年度各会計予算、一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例、工事請負契約の締結など30議案を可決、同意

平成25年3月定例会は、2月27日から3月19日までの会期21日間で開かれました。

本定例会では、平成25年度各会計予算など市長提出議案26件のほか、諮問1件、議員提出議案3件を審議しました。

その結果、議案26件、諮問1件、議員提出議案3件は原案のとおり可決・同意されました。

即決議案

◆議案第1号 夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

障害者自立支援法の一部が改正がされ、法律名が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改められたことに伴い、共同処理する事務に係る規定を改めるため、夷隅郡

市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正することについて、関係市町と協議するに当たり、議会の議決を求めようとするもの

◆議案第2号 平成24年度勝浦市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の補正、繰越明許費の設定及び地方債の補正で、歳入歳出予算については既定予算に15億8千107万6千円を追加し、予算総額を109億5千179万7千円にしようとするもの、繰越明許費については、農業体質強化基盤整備促進事業ほか14件の事業で年度内にその支出を終わらない見込みの額を翌年度に繰り越そうとするもの、地方債については、廃棄物不法投棄対策事業債の廃止、農道整備補助事業債ほか4件の追加及び消防施設整備事業債ほか5件の限

度額を変更しようとするもの

◆議案第3号 平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

事業勘定及び直営診療施設勘定の歳入歳出予算の補正で、事業勘定では既定予算から千833万5千円を減額し、予算総額を29億7千147万6千円にしようとするもの

直営診療施設勘定では、既定予算に12万円を追加し、予算総額を6千638万1千円にしようとするもの

◆議案第4号 平成24年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の補正で、既定予算から千237万3千円を減額し、予算総額を2億千764万9千円にしようとするもの

◆議案第5号 平成24年度勝浦市介護保険特別会

計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の補正で、既定予算から6千541万9千円を減額し、予算総額を20億7千510万2千円にしようとするもの

議員提出議案

議員提案により発議が3件提出されました。

◆発議案第1号 勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、議会における常任委員の所属並びに議会運営委員及び特別委員の選任に関する規定等、法律で定めていた事項が条例に委任されたため、所要の改正をしようとするもの

◆発議案第2号 勝浦市議会の各会派に対する政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、「政務調査費」の名称が「政務活動費」に、政務活動費の交付目的が「議員の調査研究その他の活動に資するため」に改められ、政務活動費を充てることができる経費の範囲を条例で定めることとされたため、また、議長は政務活動費の使途について透明性の確保に努める旨を規定した条項が新設されたため、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆発議案第3号 勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、本会議において、公聴会の開催、参考人の招致をすることができるとされたため、本規則について公聴会、参考人の規定の新設及び引用条項の整備をしようとするもの

常任委員会の審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を3月11日、

建設経済常任委員会及び教育民生常任委員会を3月12日にそれぞれ開催し、付託された議案の審査を行いました。その審査結果が3月19日の本会議で各委員長から報告され可決されました。

総務常任委員会

◆議案第6号 勝浦市情報公開条例及び勝浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律が平成25年4月1日から施行されることに伴い、国が経営する企業がなくなるなどから、関係条例について所要の改正をするもの

◆議案第7号 一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成25年4月1日から、沿岸の保育所が高台に移転することに伴い、円滑な保育の推進を図るため、現在の保育所長職に加え、

副保育所長職を新設しようとするもの

◆議案第18号 工事請負契約の締結について

勝浦中学校体育館改築工事の契約締結について、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めようとするもの

建設経済常任委員会

◆議案第13号 勝浦市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について

◆議案第14号 勝浦市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について

道路法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、本市が管理する市道の構造の技術的基準について必要な事項を定めるため、また、本市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定めるため、本条例を制定しようとするもの

◆議案第15号 勝浦市準用河川管理施設等の構造

の技術的基準を定める条例の制定について

河川法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、準用河川の管理上必要な技術的構造基準について必要な事項を定めるため、本条例を制定しようとするもの

◆議案第16号 勝浦市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について

公営住宅法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、市営住宅等の整備基準について必要な事項を定めるため、本条例を制定しようとするもの

◆議案第17号 勝浦市都市下水路条例の一部を改正する条例の制定について
下水道法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、都市下水路の構造及び維持管理の基準について必要な事項を定めるため、本条例について所要の改正をしようとするもの

教育民生常任委員会

◆議案第8号 小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

寄附金受納に伴い、本条例について、基金の額を改正しようとするもの

◆議案第9号 勝浦市スポーツ施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について

勝浦市営野球場敷地に仮称市民文化会館を建設することに伴い、勝浦市営野球場を廃止しようとするため、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第10号 勝浦市新型インフルエンザ等対策特別措置法が平成24年5月11日に公布されたことに伴い、勝浦市新型インフルエンザ等対策本部に關し必要な事項を定めるもの

◆議案第11号 勝浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

◆議案第12号 勝浦市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備

平成25年度予算を審査 予算審査特別委員会

平成25年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、5会計の歳入歳出予算等を審査するため7人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、各会計の歳入歳出予算等を審査し、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計及び水道事業会計いずれも賛成多数で原案のとおり可決すべきものとし、本会議最終日に委員長から報告されました。

委員会の審査内容については、議会トピックスの委員長報告をご覧下さい。

なお、委員は次のとおりです。

委員長 松崎栄二

副委員長 吉野修文

委員 板橋 甫 土屋 元 戸坂健一 藤本 治

渡辺玄正

◆議案第19号 平成25年度勝浦市一般会計予算

長期的視点に立ったまちづくりを進めるための勝浦市総合計画前期基本計画及び第1次実施計画の計画事業を優先した予算編成であり、また、社会資本整備総合交付金や緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金を積極的に活用した事業を盛り込んだ予算計上であることから妥当と認めました。

◆議案第20号 平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計予算

事業勘定では、医療費の動向に配慮するとともに、健全な財政運営を基本とした事業の推進に必用な予算の計上であり、直営診療施設勘定では、公立の診療所としての適切な医療を行うために必要な予算の計上であり、妥当と認めました。

◆議案第21号 平成25年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療支給対象者の医療給付に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

◆議案第22号 平成25年度勝浦市介護保険特別会計予算

高齢者の介護を社会全体で支える社会保障制度に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

◆議案第23号 平成25年度勝浦市水道事業会計予算

上水道事業として市民に生活用水等を供給するための必要な予算計上であり、妥当と認めました。

備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

議案第11号及び議案第12号とも介護保険法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されたことに伴い、厚生労働省令で定められていた指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等について必要な事項を定めるため、また、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるため、本条例を制定しようとするもの

追加議案

最終日に市長から追加議案が提出され、可決、同意されました。

◆議案第24号 平成24年度勝浦市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出予算の補正、繰越明許費の補正及び地方債の補正で、歳入歳出予算においては、既定予算から301万8千円を減額し、予算総額を109億4千877万9千円にしようとするもの

繰越明許費においては、勝浦駅北口こ線人道橋維持補修工事及び小規模治山緊急整備工事について年度内の事業完了が見込めないことから、それぞれ、その額を翌年度に繰り越し、また道路舗装に係る社会資本整備総合交付金事業について、事業費の変更に伴い翌年度に繰り越す額を変更しようとするもの

地方債においては、観光施設整備事業債の追加及び道路改良事業債ほか2件の限度額を変更しようとするもの

◆議案第25号 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

平成25年3月31日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に狩野正勝氏を再任する

ことについて、議会の同意を求めようとするもの
氏名 狩野正勝
住所 勝浦市串浜1792番地
年齢 68歳

◆議案第26号 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
固定資産評価審査委員会委員鶴谷経雄氏が、平成25年3月31日をもって任期満了となることに伴い、新たに小柴章夫氏を選任することについて、議会の同意を求めようとするもの
氏名 小柴章夫
住所 勝浦市荒川191番地
年齢 65歳

◆諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
小澤一之氏を、人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めようとするもの

氏名 小澤一之
住所 勝浦市串浜1260番地の1
年齢 65歳

【議会日誌】

2月

5日 議会報編集委員会

6日 議会改革検討委員会

13日 千葉県自治体病院経営都市議会協議会行政視察(千葉市)

黒船ハーマン号慰霊祭

14日 国民健康保険運営協議会

夷隅郡市広域市町村圏事務組合

議会全員協議会(いすみ市)

千葉県後期高齢者医療広域連合

議会定例会

20日 全員協議会

22日 議会運営委員会

23日 南房総広域水道運営協議会(大多喜町)

27日 3月定例会

28日 〃 本会議

3月

4日 3月定例会 本会議(一般質問)

5日 〃 本会議(一般質問)

6日 〃 本会議(質疑)

7日 〃 本会議(質疑)

11日 総務常任委員会

12日 建設経済常任委員会

教育民生常任委員会

13日 予算審査特別委員会

19日 3月定例会 本会議(最終日)

28日 全員説明会

4月

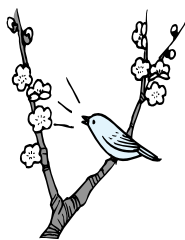
5日 交通安全出動式

10日 議会改革検討委員会

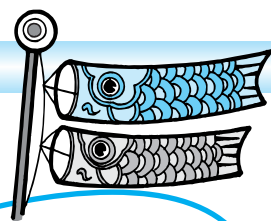
12日 表彰審査委員会

22日 千葉県市議会議長会定例総会(千葉市)

25日 関東市議会議長会定例総会(甲府市)



議会トピックス



予算審査特別委員長報告

今期定例会において、予算審査特別委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告申し上げます。

なお、審査の過程において各委員から質疑、意見、要望等が出されました。その主なものを申し上げますと、一般会計の歳入予算において、市税等歳入予算額の算出根拠について、ただしたところ、**市税等については、本年度決算見込額に徴収率及び目標値を勘案し算出した。**との答弁がありました。

また、歳出予算において、平成24年度予算と対比し規模を縮小又は撤廃した補助金について、地域住民から要望がある社会資本整備に係る予算が反映されていないなどただしたところ、**補助金については、補助率の見直し及び繰越が多額の団体への補助金額の見直しを行い、今後も補助金審査検討委員会に審議をお願いするなど、総点検を実施する予定、また、社会資本の整備については、国の一次補正予算にある臨時交付金の内容を確認しながら補正予算で対応する予定のため、当初予算には計上しなかった。**との答弁がありました。

次に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計について、近隣の市町で行っている法定外繰入金について、本市でも一般会計からの繰り入れにより税負担を下げるべきとただしたところ、**各会計の中で考えると、その中で運用していくことが大前提であることから、繰り入れの考えはない。ただし、市民の皆さんの負担が少しでも軽くなるよう努力したい**と答弁がありました。

次に、水道事業会計について、県内でも高いとされている本市の水道料金について、今後、どうしたら引き上げの料金改定をしないで済むかただしたところ、**平成25年度はわずかであるが給水収益が上がると見込まれるが、料金については、今後の事業運営の中で慎重に検討していきたい**と答弁がありました。

平成25年度各会計予算規模

単位：千円・％・

会 計 名		25年度当初	24年度当初	比較増減	増減率
一 般 会 計		8,751,000	7,713,000	1,038,000	13.5
特別会計等	国民健康保険	2,945,180	3,006,199	△ 61,019	△ 2.0
	事業勘定	2,874,561	2,931,360	△ 56,799	△ 1.9
	直営診療施設勘定	70,619	74,839	△ 4,220	△ 5.6
	後期高齢者医療	221,701	229,930	△ 8,229	△ 3.6
	介護保険	2,162,126	2,022,490	139,636	6.9
	水道事業	970,290	960,229	10,061	1.0
特別会計等小計		6,299,297	6,217,367	81,930	1.3
合 計		15,050,297	13,930,367	1,119,930	8.0

※水道事業会計の(法適)の予算規模＝収益的収支・支出〔経常費用(営業費用+営業外費用)-減価償却費〕+資本的収支・支出＝〔(703,818+54,630)-126,817〕+338,659＝970,290

平成25年度一般会計歳入歳出予算

単位：千円・％

項 目	歳入予算額	構成比	項 目	歳出予算額	構成比
市 税	2,116,226	24.2	議 会 費	163,455	1.9
地 方 譲 与 税	82,000	0.9	総 務 費	1,423,965	16.3
地方消費税交付金	185,000	2.1	民 生 費	2,942,487	33.6
地 方 交 付 税	2,330,000	26.6	衛 生 費	799,596	9.1
分担金及び負担金	176,473	2.0	農 林 水 産 業 費	159,721	1.8
使用料及び手数料	139,997	1.6	商 工 費	182,651	2.1
国 庫 支 出 金	1,177,609	13.5	土 木 費	321,669	3.7
県 支 出 金	415,025	4.7	消 防 費	92,576	1.1
繰 入 金	445,607	5.1	教 育 費	1,756,978	20.1
諸 収 入	363,199	4.2	災 害 復 旧 費	2,000	0.0
市 債	1,155,500	13.2	公 債 費	898,902	10.3
そ の 他	164,364	1.9	予 備 費	7,000	0.1
合 計	8,751,000	100.0	合 計	8,751,000	100.0

議会改革検討委員会

平成23年6月から議会改革検討委員会において

- ・本会議の運営について
- ・委員会の運営について
- ・定数、報酬、研修など議員活動について
- ・議会のインターネット中継、議会広報など広報広聴機能の充実について
- ・市民と議会の関係（市民と議会の意見交換会議の設置など）について

をテーマとして順次検討を進めています。

現在、議会情報の公開、また、議会を傍聴に来られない方への配慮を目的に議会のインターネット中継について並びに議員定数及び議員報酬について検討中です。

今後、委員会で決定した事項について、随時、議会報でお知らせしていきます。

委員長 寺尾 重雄
 副委員長 岩瀬 洋男
 委 員 磯野 典正
 刈込 欣一
 黒川 民雄
 佐藤 啓史
 土屋 元
 藤本 治
 吉野 修文



… 一 般 質 問 …

市政の が聞きたい

3月4・5日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

4 日	佐藤 啓史 1. 消防団について 2. 定住促進について	5 日	戸坂 健一 1. アニメメディアとの連携強化の必要性について 2. 市役所及び公共施設の情報化推進について
	鈴木 克己 1. 市長への手紙について 2. (仮称)市民文化会館の運営について		根本 譲 1. LED防犯灯の設置について 2. 健康・福祉について
	藤本 治 1. 平成25年度予算と国保税の負担軽減について 2. 保育所の平成27年度以降の再編について 3. 指定管理者制度について		



問 消防団OBや各種技能保持者などから組織する災害支援隊を創設

答 東日本大震災で多くの消防団員が殉職した教訓から、団員へは率先避難を指導している。ライフジャケットの配備については、有効性を含め今後検討したい。

問 今後想定される大規模地震とそれに伴う津波災害に備えて海岸部の消防団員にライフジャケットを配備すべきと考えるが？

答 将来の少子高齢化による消防力の低下が心配されるため、組織改編による機動的な消防力を維持し、低下させないため今回の組織改編を行った。

問 空き家バンク制度が導入されたが、これまでの実績と今後の課題についてお聞きする。

答 現在3件が登録されており、1件は交渉中である。課題としては登録件数が少なく、他人への譲渡や賃貸することへの不安、相続が完了していないなどの理由がある。

問 勝浦市定住促進協議会が発会したが、協議会の目的と具体的な活動内容についてお聞きする。

答 目的は、新規移住者の誘致促進、移住されてきた方や地元住民が市域外に転出しないように施策を展開し、地域活性化を図ること、移住相談や情報発信、交流事業の実施などが主な事業となる。

問 昨年度提案したネット市民制度の導入についての考えをお聞きする。

答 本市の定住施策の推進に沿うものと考えられるため、新たに設立された勝浦市定住促進協議会で検討していただけたらと考えている。

消防団について



佐藤 啓史 議員
(新創かつうら)

問 消防団の組織改編の目的と理由についてお聞きする。

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

問 定住促進について

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

問 地域おこし協力隊事業について、その事業内容についてお聞きする。

答 地域おこし協力隊事業は、総務省所管の外部人材を活用する事業であり、都市住民を受入れるべきと考えるがどうか？(災害支援隊の活動内容は、消防団の後方支援や補助活動を行うものとする。)

問 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

問 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

問 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

問 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。

答 少子高齢化が進んだ場合には、消防団OB等が有する知識、技術、経験等を生かして、消防活動の後方支援するような組織づくりが必要と考えており、その際には消防団と協議したい。



鈴木 克己 議員
(新創かつうら)

市長への手紙事業について

問 市長への手紙で公表されているものは、平成23年度26件、平成24年度は1月までで39件あり、市民からの意見等は市政運営で参考となるものが多くあると思います。が、これまでの意見や提案で参考としたもの等についてお示しください。

答 市政、施策に反映したものは、KAPPLYビクターセンターでのパソコンの無料利用、市役所トイレの洋式化、トンネル照明のLED化の実施及び興津久保山台に子どもが遊べる公園整備を予定している。

問 市民からの意見や要望について、検討、取組を強化する等の回答も多くありますが、その後の対応や進行管理がどのように行われているのか。

答 手紙の性格は、市長個人と市民とのマンツーマンの対応を手紙を介して行っているものであり、行政の問題ではなく回答内容は政治的な問題であるため進行管理とか第三者がその実効性を問うことは想定していません。

問 障害者福祉事業に關連し、勝浦市で実施している障害者福祉タクシー助成事業によるタクシー券の替りに助成事業対象者で車を利用している者に対し燃料費の助成を求めたこと及び市長との対話の機会を求めたことに對して、いずれも否定的な回答であった。燃料費の助成は選択制として県内でも5市で実施している。改めて再検討の上の答弁を求めます。

答 公表されている回答は概要を箇条書きにしたものであり、本人には詳細な回答をしている。福祉政策は、暖かさが必要。今後、財政状況等を踏まえ検討したい。

(仮称)市民文化会館の運営について

問 市民文化会館も4月に建設着工し、平成26年9月には竣工、10月から運用が始まる予定であるが、1年半後には運用が開始される文化会館の事業や興行などを行うための運営方法についてどのように実施していく考えか。

答 開館後の運営は、市指定管理者制度を導入するか、先進市町の現状を調査・参考にしながら運営方針を早期に決定したい。併せて、市民会議により、市民の望む演目の種類、回数等具体的な運営内容について意見を伺い、ホールの有効な運用、効率的な運営を目指す。

問 公民館機能を併せ持つ会館として、年間の稼働スケジュールはどのように考えているのか。

答 芸術文化事業の実施、各種団体の大会開催、災害時における避難所としての有効利用等、旧施設に代わる地域の芸術文化活動の拠点として、交流機会が拡大するように年間のスケジュールを検討し稼働率の向上を目指す。



藤本 治 議員
(日本共産党)

平成25年度予算と国保税の負担軽減

問 国保税の負担軽減は市民の切実な要望です。特に年間所得200万円の低所得者には耐え難い負担です。この階層の負担額をお示しください。

答 国保税を40歳代の夫婦と子ども2人世帯を例として算出した場合は、36万円程度です。

問 いわゆる15ヶ月予算として組まれた今回の予算編成の財源効果を活用し、一般会計からの繰り入れを行うなどして、国保税の負担軽減を行うべきだと考えますが、市の見解を伺います。

答 依然として医療費は高く、財政運営が厳しい状況にあり、税率引き下げは困難と考えており、なお、一般会計からの法定外繰り入れをする考えはありません。

問 問題は、国保の総収入に占める国庫支出金の割合が80年代初頭に比べ半減してしまつたことにあります。一方で国保の広域化Ⅱ都道府県単位数が進められようとしていますが、市町村が実施している一般会計からの繰り入れなどの対応が投げ捨てられれば、今以上の負担増に県民全体がさらされることになりま

答 国保の広域化は負担軽減には役立たないと考えますが、市の見解を伺います。

問 機会を捉えて国、県に対し国庫負担額の増額や財政支援を要望しています。勝浦市のような弱体的な保険者にとつては、広域化はプラスになるのではないかとという認識を持っています。

平成27年度以降の保育所再編について

問 認定子ども園については賛否が分かれており、あと1回の市民会議でまとめる提言とはどのような内容になるのか。

答 こういう意見があった、また、こううたいと考えています。

問 今後の段取りは、3月中に提言をまとめ、市の方針を決定し、説明会を開いて設計予算を議会に諮るということだが、住民のコンセンサスはいつ、どの段階で得られるのか。

答 一つは市民会議、もう一つは各地域での説明会と考えている。

問 説明会でいろんな市民の意見を聞いたうえでそれを取り入れたものを議会に提案するのが筋ではないか。

答 方針決定では市民会議の意見を取り入れますので、これを直す事は考えていません。

総野園に指定管理者制度はなじまない

問 特別養護老人ホームで5年ごとに管理者が交代するのは全く合理性がないものです。5年後に応募できる社会福祉法人はどこでしょうか。

答 募集要項をその時々状況により変えることも可能であり、現時点では分かりません。



戸坂 健一 議員
(新創かつうら)

アニメメディアと連携した街おこしについて

問 近年、鴨川市や茨城県大洗町のようにアニメ作品の誘致を行い、地域タイアップによって観光客の増加、関連商品の売上倍増などに成功している自治体がある。新たな地域振興策として、自治体がアニメ作品との連携強化を図る必要があると考えるが、アニメ制作者を対象にしたロケ支援を行うための部署を役所内に設置してはどうか。

答 研究の必要はある。県のフィルムコミッションと情報共有を行い、積極的に連携を図ってきたい。ロケ地誘致やロケ支援を担当する部署の設置は考えていないが、KAPPYビクターセンタールにおいて、アニメ制作者も含めたロケ支援や情報発信を推進して行く。

大洗町におけるアニメとのタイアップ例



問 勝浦市の魅力ある文化や風景を制作者側に積極的にアピール・発信していく必要がある。今後設置される予定のビクターセンタール独自ホームページの中で、ロケ地の紹介等を行う制作者向けのページを設置しては。

答 ロケ地等の情報発信については、過去の情報等を整理したうえで順次、KAPPYビクターセンタールのホームページ上で情報を提供し、発信して行きたい。制作者向けの頁の設置については検討する。

公共施設の公衆無線LAN Wi-Fiの設置について

問 公衆無線LANとは、市民や観光客が無料で使用出来る高速インターネット通信サービスのことである。スマートフォンやタブレット等の高速通信に対応した情報端末を持つ市民が急増していることや、観光客の情報収集・発信にも重要な役割を果たす事、加えて災害時にも電話回線のバックアップとして重要な役割を果たすことから、勝浦市においても市役所、図書館等の公共施設に公衆無線LANを整備すべきと考えるがどうか。

答 公衆無線LANの整備は、観光における情報発信だけでなく防災面においても非常に有効であると認識している。幾つか課題はあるものの、非常に有効性のある施策であると考えるので、今後前向きに検討して行く。

新潟市のパンフレット



根本 謙 議員
(公明党)

防犯灯のLED照明の導入設置について

問 福島第1原発事故を受け、エネルギー政策の大きな転換が課題となっている。逼迫する電力事情を考え、本市として民間資金を活用したLED方式による防犯灯LED照明の導入を検討されてはどうか。

答 基本的に業者がLED防犯灯を設置して市がリースを受けるシステムになっているが、この場合、現在の防犯灯を全て撤去し、LEDに切り替えることになり、大半の防犯灯がまだ十分使用可能な状態であり、今後、新たに設置する防犯灯についてはLEDに切り替える方針であり、リース方式については現時点では考えていません。

医療費の適正化について

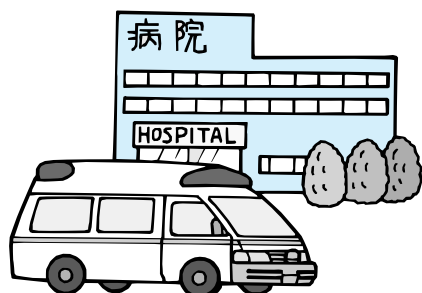
問 本市のジェネリック医薬品の考え方と普及率をお聞かせください。

答 普及率については、1年間の数量ベースで約18%となっている状況です。ジェネリック医薬品は、先発医薬品に比べて薬価が安くなっており、ジェネリック医薬品の普及は患者の負担軽減、医療保険財政の改善に資するものと考えています。本市においてもジェネリック医薬品の普及促進を図るため、被保険者へパンフレットや啓発グッズの配布、市長会等を通じて国、県に要望を行っているところがあります。また、機会がありましたら、医師会等にも働きかけたいと思っています。普及促進の一つとしてジェネリック医薬品希望カードの配布についても検討していきたいと考えています。

問 国保連合会が導入した新システムでどのようなものができるのか伺います。また、そのシ

ステムにより疾病の早期発見と重症化の抑制はできるのか伺います。

答 国保連合会のシステムは、データのオンライン化による国保事業に係る資格、給付、過誤調整のペーパーレス化が図られ、ジェネリック医薬品差額通知作成や同一疾病で複数、医療機関に受診している方であるとか、一ヶ月における複数の医療機関への通院日数の合計が15日以上で3ヶ月以上継続している方の把握、疾病等の分類が可能となっています。本市ではシステムデータと市の健康管理システムを活用して疾病の早期発見と重症化の抑制を図るため、保健指導に務めています。



3月定例会審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第1号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第2号	平成24年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第3号	平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第4号	平成24年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決◎
議案第5号	平成24年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第6号	勝浦市情報公開条例及び勝浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第7号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第8号	小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第9号	勝浦市スポーツ施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第10号	勝浦市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決○
議案第11号	勝浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決◎
議案第12号	勝浦市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可決◎
議案第13号	勝浦市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	可決◎
議案第14号	勝浦市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について	可決◎
議案第15号	勝浦市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	可決◎
議案第16号	勝浦市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について	可決◎
議案第17号	勝浦市都市下水路条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第18号	工事請負契約の締結について	可決◎
議案第19号	平成25年度勝浦市一般会計予算	可決○
議案第20号	平成25年度勝浦市国民健康保険特別会計予算	可決○
議案第21号	平成25年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算	可決○
議案第22号	平成25年度勝浦市介護保険特別会計予算	可決○
議案第23号	平成25年度勝浦市水道事業会計予算	可決○
議案第24号	平成24年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第25号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意◎
議案第26号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意◎
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決◎
発議案第1号	勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
発議案第2号	勝浦市議会の各会派に対する政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
発議案第3号	勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決◎

◎全会一致 ○賛成多数

編集後記



議会だより第145号をお届けします。

本号は、平成25年3月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧ください。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。(http://www.city.katsuura.lg.jp)

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343番地の1 勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会 ☎ 73-6662

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】

平成24年6月定例会	29名
平成24年9月定例会	43名
平成24年12月定例会	40名
平成25年3月定例会	20名